

news: 4月27日(金) HuRP主催のイベントのお知らせです!

会員みなさま、大変遅くなりました。「白鳥事件」プロジェクトチームより、イベント開催のお知らせです。

『白鳥事件』があった！
—55年経ったいま、そこから何を見るか

- ・とき 4月27日(金) 18:30~21:00
- ・ところ 伊藤塾高田馬場校
- <満席の場合、別室で同時中継をご覧ください>
- ・資料代 500円 (HuRP会員300円)
- ・内容
- 1 映像で観る「白鳥事件」

●2 事件の当時の世相と政治状況、そして白鳥決定とは何だったのか
大出良知氏/谷村正太郎氏 (予定)

現代の再審えん罪事件についてのお話も予定しています。
席の予約も承りますので、お電話・ファックスもしくはメールにて、HuRP事務局までご連絡ください。



news: 上映会情報など

映画「日本の青空」

敗戦後まもない日本で、在野の憲法学者・鈴木安蔵らを中心とする「憲法研究会」によって練り上げられた民間憲法草案は、国民主権、人権保障、男女平等などを謳ったものであった。この草案は英訳され、GHQはそれをつぶさに検討、参考にしたという。

現代に軸足を置いて日本国憲法誕生の真相をいきいきと描き出したというこの映画、全国的に上映会が始まっています。すでにご覧になった方はいらっしゃいませんか?

ぜひ、HuRP事務局まで感想をお寄せください!

東京では、以下の通り有料試写会が決定しています。

- 4月21日(土) 日野市民会館
- 4月28日(土) あきる野市ルピアホール
- 5月2日(水) 品川区きゅりあん小ホール
- 5月6日(日) 府中市ひばりホール
- 5月10日(木) 青梅市民会館
- 5月11日(金) 青梅市民会館
- 6月2日(土) あきる野市きららホール
- ・詳細は、共同映画株式会社 (TEL: 03-3463-8245) まで。
- ・公式ホームページはこちら
<http://www.cinema-indies.co.jp/aozora/index.html>

東京では、ついに桜が咲き始めました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。少し前のこととなりますが、日本民主法律家協会 (<http://www.jdla.jp/>) 発行の月刊誌「法と民主主義」の2007年1月号【415号】の特集座談会「戦争をしない国であり続けるために」に、伊藤 真・HuRP副理事、大川 仁・事務局長が登場しました。また、同じ特集に水島朝樹理事も「『平和力』を培うために」という文章を寄せています。よろしければご覧ください(ホームページから注文することもできます)。

さて、ついに、HuRP主催のイベントをお知らせすることができました。「『白鳥事件』があった!」では、「白鳥事件」プロジェクトで編集中の映像の一部をご覧頂き、弁護人のひとりとして白鳥事件の再審裁判をたたかった谷村弁護士、そして刑事訴訟法の専門家である大出先生にお話を頂きます。また、映像をご覧頂いた後は、HuRPの2006年度活動報告もかんたんにご覧いただけますので、連休前ではありますが、ぜひ、高田馬場までお出かけください! それでは、また来月。(彩香)

特定非営利活動法人「人権・平和国際情報センター」(HuRP: ハープ)
Human Rights and Peace Information Center JAPAN (HuRP)
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6 川合ビル41号室 TEL&FAX 03-3234-3231
e-mail hurp@hurp.info HP <http://www.hurp.info/>

賛・助・会・員・へ・の・お・知・ら・せ



<http://www.hurp.info/>



Chocolat チョコレート、好き?

ILO駐日事務所によると、2005年7月の統計では、世界中の子どもの6人に1人、約2億4600万人が「児童労働」(子どもたちの健全な成長を妨げる労働をさし、家の手伝い、小遣い稼ぎのアルバイト等は含まれません)に従事しています。

Child Labour

皆さんは、チョコレート、好きですか? 僕は大好きです。仕事の合間に、コーヒーを飲みながら、よくチョコレートを食べます。では、このチョコレートの原料であるカカオ豆は、どこで・誰が作っているのでしょうか?

全世界で生産されるカカオ豆のうち、その7割が西アフリカで生産されています。カカオ豆は、貧しいアフリカ諸国にとって、外貨を稼ぐための重要な手段となっています。ところが近年、激しい競争にさらされ、カカオ豆の価格が下がっています。そこで、人件費を抑えるために、人身売買によって子どもを手に入れ、この子どもたちを奴隷のように使用するという実態があります。

子どもたちは、早朝から深夜まで、長時間にわたり、重労働を強いられます。労働時間は、週に100時間にも及ぶといわれています。適切な休憩もなく、劇薬である農薬を素手で扱い、十分な食事も与えられません。寝る時は、狭い小屋にぎゅうぎゅう詰めです。外から施錠されており、トイレは、小屋の中で垂れ流し状態です。まさに奴隷状態にあるのです。こうしたカカオ豆の生産に使用されている子どもたちは西アフリカでおよそ25万人にもものぼるとされています。

日本にも、多くのカカオ豆が輸入されています。輸入されているカカオ豆の全てが児童労働によるものではないにせよ、その一部が児童労働のたまものである可能性が高いといえます。それが、チョコレートとなり、僕たちの口に運

ばれることとなります。日本のスーパーやコンビニに並んでいるチョコレートを買うという行為が、子ども奴隷・児童労働を助長することにつながるということを認識してほしいと思います。

では、チョコレートを食べるにはどうすればいいのでしょうか?

実は、子ども奴隷・児童労働を使わないで生産されたカカオ豆からつくられたチョコレートが、商品として存在しています。フェアトレードの商品がそれです(フェアトレードは、児童労働を行っていないということだけではなく、むしろ、適正な価格で取引されていることが重視されているものですが)。大きなお店に行けば、フェアトレードのチョコレートが売られています。もちろん、児童労働を行わないため、価格は通常のチョコレートよりも高いものになります。どちらを選択するかは、消費者にゆだねられています。みなさんは、どちらのチョコレートを選びますか? (TO)

〈参考URL〉
 アムネスティ・インターナショナルのチョコレートアクション:
<http://www.amnesty.or.jp/modules/wfsection/article.php?articleid=165>
 ILOの児童労働のページ:
<http://www.ilo.org/public/japanese/region/asro/tokyo/ipecc/index.htm>

ほかにもあります、フェアトレードのしなじな。

フェアトレードは、世界経済、流通システムの歪みによって不利な立場に立たされる発展途上国の人々を支えるために始められたもので、寄付や物質的な援助ではなく、経済的、社会的に弱い立場にある人々が正当な報酬を受け、誇りを取り戻して自立することを共に目指す、対等なパートナーシップによる貿易です。それは、生産者と直接つながる「顔の見える貿易」でもあります。

また、伝統文化の継承や自然環境の保護も大切な目的の一つです。



まずはドライフルーツのご紹介です。「自然の恵みがいっぱい詰まったドライフルーツを食べてフィリピンの子どもたち・ウガンダの経済を支援しよう！」フィリピン・ドライマンゴ、ウガンダ・ドライパイナップル&ドライバナナの3点(定価2070円:袋なし)が、現在キャンペーンで1300円(袋入り)。お得です。people treeは、「買い物で世界を変える」が合い言葉。ネット販売も充実です。
<http://www.peopletree.co.jp/>

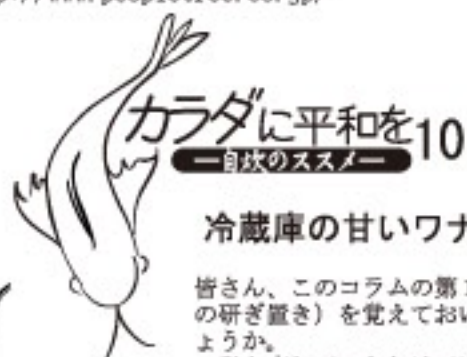
インスタントや缶から豆まで、コーヒーは、フェアトレードの基本！気軽に試せる、種類も多いので、試さない手はありませんね。



ナマケモノ倶楽部のホームページより。
左から、インタグコーヒーの苗木、出荷される豆、
http://www.sloth.gr.jp/ecua/fairtrade_coffee.html

そのほか、特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン「あなたの町のフェアトレードコーヒー」もご参考に！
<http://www.fairtrade-jp.org/coffees.jpg>

こちらはサッカーボール。
世界のサッカーボールの約70%がパキスタンで作られているのはご存知ですか？1つ1つ手縫いですが、労働は安く、児童労働の温床になっている状況もあります。サッカーボールスター(4号球/練習レベル)2500円(税込)。
わかちあいプロジェクト
<http://www.wakachiai.com/>



カラダに平和を10年

冷蔵庫の甘いワナ

皆さん、このコラムの第1回(米の研ぎ置き)を覚えておいででしょうか。

私も忘れていたわけではありませんが、いつの間にか10回目を迎えてしまいました。第1回にはこんなことを書いていたのです。

「研いだお米はべつに当日炊かなくても冷蔵庫に入れておけば食事がしたいときに出して炊くことができます(これについては、後で「冷蔵庫の甘いワナ」の回でもお話します)」

私は安くて大量に食材を買ったりしたときに冷蔵庫に入れておきます。皆さんは炊いて余ったごはんをいれて、レンジでチンするといいことがあると思います。ちなみに私の

中に氷ができていたのかわかるでしょうか……

にはレンジはありません(プロコックをお読みください)。食材を冷蔵庫に入れておけば、日保ちします。しかし、買い物に行ったとき、「あの食材、まだ冷蔵庫にあったなあ、まだ買わないでおくか」と安心して、家で食事を作ると、「あの食材、まだ冷蔵庫にあるから使わなくても大丈夫だな」と思っていたら使わないう悪循環に陥り、その食材を使わなく(使えなく)なってしまうことがあるのです。

最近ですと、私の家では、油揚げ、バナナなどがその被害にあっています(この言い方は正しくありません)。皆さんの家には、ありませんか？賞味期限が大幅に過ぎた冷凍食品などが……(T本)



●日本国憲法公布60周年企画● 「ブックマークの似合う本」 HuRP's selection vol.7



反戦軍事学
0229

著者



『反戦軍事学』

林 信吾 著

朝日新聞社(新書)
2006年12月発行
定価 756円(税込)

本書は、入門編、中級編、上級編、応用編の4部構成でなっている。

著者の林信吾氏は、「あとがき」にもあるように、ただの「軍事オタク」でもないし、感情的に戦争は反対であるという立場ではなく、「軍隊」や「軍事」についての諸問題について、しっかりとした知識をもって背景等を説明したうえで、具体的に問題点を指摘している。

まず、『反戦軍事学』というタイトルに少々、驚きながら入門編の扉をめくると、いきなり「鈴木二等兵、脚踏ん張れ。歯を食いしばれえ」という物語風の書き出しで始まる。それは、日本国憲法が改正され、「国を守る義務」が明記され、「自衛隊」が「国防軍」と改称されたのちの「二〇××年の日本」の様子である。そこでは、金銭面に限らず、教育面なども含めて、あらゆる意味において、格差が拡大しており、下層の人たちが上層の人と互角に勝負しようとするならば、「国防経験者」という肩書をもたなければ、勝負にならないのだという。結局、徴兵制でない「国防軍」において、第一線を担うのは、そういったさまざまな意味において、貧しい人たちのなかである。そういった物語風の話(かなり現実味があって、恐ろしい)を交えながら、「警察予備隊」から「保安隊」を経て、現在の「自衛隊」が創設された背景や、政治家たちが「自衛のためなら何でもあり」との考えが昔からあったことなどを述べている。

次に中級編では、「軍隊」の歴史的背景、そして、「軍事用語」がなぜこんなに難しいのかといった理由が事細かに書かれている。また、自衛隊の現状、たとえば、装備品などを国産で調達するのが公共事業であること、イージス艦を導入した背景が対米貿易黒字の解消のためであったことなどをとてもわかりやすくかつ具体的に説明している。

そして、上級編では、現在の軍事に関する論議を正確かつ理論的に批判している。ただ、本書を読むまで、軍事的知識について、全くのど素人の私にとっては、細かな点を理解しにくく、やや難しかった。しかし、おおむね、著者の意見は理解できたし、特に石破元防衛庁長官の著書『国防』にある見出し「貴方も国を守ってください」は「貴方

がイラクへ行ってください」と思うのは私だけだろうか、と指摘して、あわよくば「徴兵制」が復活すればいい、と思っている政治家たち(つまり、上層部)ほど、自身や身内を戦場で果てるという事態を覚悟していないという、矛盾点を指摘している。

最後に、応用編では、現在の状況をどう打開していくかといった議論を進めている。

本書を読み終え、著者がたびたび「戦争は厭だと思ふ人ほど、正しい軍事的知識を身につけてもらいたい」と指摘した理由がよく分かった。戦争は厭だと思ふ人ほど(と書いている私も)「戦争の知識なんぞ、知る必要もない。あんな嫌なものはないほうがいいんだ」、ととかく感情論に走りやすいが、本書を読むことで、軍事的知識を身につけたうえで、反対をしなければ、社会のよからぬ流れに流されてしまうと強く感じた。

(いけふくろう)

人権・平和をめぐる主な動向

2007.2.26~3.16

人権 Human Rights

「君が代」不起立処分■2月20日日本弁護士連合会は東京都教委に対し「君が代」斉唱の際に起立しなかった教員への処分の取り消しを求めた。従軍慰安婦問題にアメリカが注目■従軍慰安婦問題での安倍首相の「(旧日本軍による)強制性を裏付けるものはなかった」との発言をアメリカ各紙が批判。入居差別訴訟：在日韓国人弁護士家主と和解■外国籍を理由にした入居拒否が争われていた訴訟で、家主が在日韓国人弁護士に謝罪し和解が成立。

平和 Peace

ピキニデーを語り継ぐ■3月1日はピキニデー。HuRPレポート参照を。東京新聞が平和憲法を検証■東京新聞が「試される憲法 誕生60年」を連載。HuRPの伊藤副理事長や水島理事も登場。国民投票法案成立に向け、国会紛糾■3月15日、衆院憲法調査特別委は国民投票法案に関する公聴会開催を与党単独で議決。平和憲法めぐり国会紛糾。